

第29回定時株主総会決議ご通知

当社第29回定時株主総会において、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

報告事項 1.第29期（2024年5月1日から2025年4月30日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件

2.第29期（2024年5月1日から2025年4月30日まで）計算書類報告の件

本件は、上記1.及び2.の内容を報告いたしました。

決議事項 第1号議案 剰余金処分の件
本件は、原案どおり承認可決され、1株につき12円の期末配当を実施することに決定いたしました。

第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）5名選任の件
本件は、原案どおり承認可決され、取締役（監査等委員である取締役を除く。）として、小方 功、今野 智、田邨知浩、大久保柳華、中垣徹二郎の各氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

以上

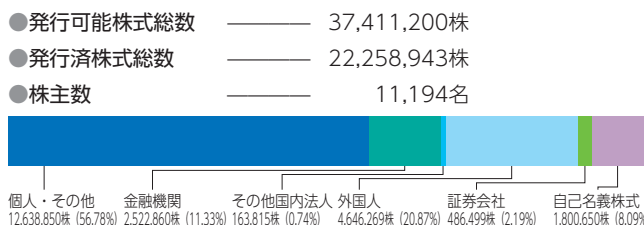
配当金のお支払いについて

第29期期末配当金は、同封の「期末配当金領収証」によりお支払いいたしますので、払渡しの期間内（2025年7月28日から2025年8月29日まで）に最寄りのゆうちょ銀行本支店及び出張所並びに郵便局（銀行代理業者）でお受取りください。
また、金融機関振込をご指定の方には、「配当金計算書」及び「お振込先について」を同封いたしましたので、ご確認ください。

会社概要 （2025年4月30日現在）

社名 株式会社ラクーンホールディングス
（英語名：RACCOON HOLDINGS, Inc.）
本社 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-14-14
創業 1993年9月
設立 1995年9月（法人登記）
株式 東京証券取引所プライム市場上場（証券コード3031）
従業員数（連結） 232名 うち社員224名

株式の状況 （2025年4月30日現在）



株主メモ

事業年度 毎年5月1日から翌年4月30日まで
定時株主総会 毎年7月
基準日 定時株主総会 4月30日
期末配当金 4月30日
中間配当金 10月31日

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話:0120-782-031（フリーダイヤル）

株式の売買単位 100株
公告方法 電子公告により当社ホームページ
（<https://www.raccoon.ne.jp/>）に掲載いたします。
但し、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

（ご注意）

- 株主様の住所変更その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三井住友信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三井住友信託銀行）にお問合わせください。
なお、三井住友信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

ra((oon
HOLDINGS

raccoon report

第29回 定時株主総会決議ご通知

2024年5月1日 ～ 2025年4月30日

証券コード：3031



代表取締役社長
小方 功

株主の皆様におかれましては、平素より温かいご支援及び格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2025年4月期の「raccoon report」をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2025年4月期は、前期に顧客獲得投資を大幅に増強して大規模なプロモーション活動などを実施したことで引き上げた顧客獲得ペースを継続しながら、利便性の向上を目的としたサービスの改修を図ることで、EC事業、フィナンシャル事業ともにGMV成長及び保証残高の積み上げに取り組みました。その結果、2025年4月期は営業利益倍増、過去最高の営業利益でのV字回復を達成することができました。これらもひとえに皆様のご支援の賜物と心より感謝しております。

さて、6月に「中期経営計画（2026年4月期～2028年4月期）」を発表いたしました。その中で初となるグループ経営方針（長期ビジョン）も発表いたしました。長期ビジョンとして「ラクーンBtoBネットワーク構想」を掲げ、「小さな新しい会社でも、お互い安心して便利に取引できる。グループ顧客の企業活動が効率化し便利になるサービスを提供。」を目指してまいります。なお、今回の中期経営計画のテーマは「顧客ニーズを生かした各サービスの成長と、グループ顧客化によるLTV向上」です。本中期経営計画は、「ラクーンBtoBネットワーク構想」の実現に向けた第一歩としてグループ顧客化と既存サービス成長に重点を置いてまいります。中期経営計画の詳しい内容につきましては、当社コーポレートサイトに掲載しております。ぜひ、一度、お目通しいただければ幸いです。

2026年4月期は中期経営計画の初年度になります。各サービスの指標（GMV、保証残高）の二桁成長に取り組み、二桁増収、二桁増益を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

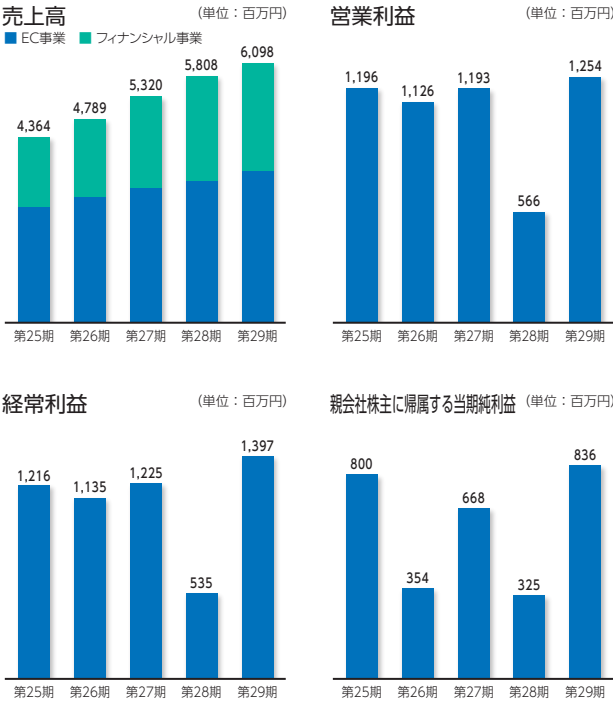
2025年7月

連結業績

POINT

- EC事業、フィナンシャル事業ともに堅調な売上高成長を継続した結果、過去最高の売上高を更新。目標としていた営業利益の倍増、過去最高の営業利益でのV字回復を達成
- 前期のテレビCMなどの顧客獲得投資の大幅な増強から、集客効果の高いリスティング広告を中心とした戦略への切り替えにより広告宣伝費・販売促進費は前期比28.0%減少

売上高 6,098 百万円 (+5.0%)
営業利益 1,254 百万円 (+121.3%)
経常利益 1,397 百万円 (+160.8%)
親会社株主に帰属する当期純利益 836 百万円 (+156.7%)



セグメント別の概況

EC事業

売上高 3,562 百万円 (+6.9%)
セグメント利益 1,239 百万円 (+39.7%)

- ・集客効果の高いリスティング広告を中心とした広告投資方針の転換後も購入客数の増加は高い水準を継続
- ・ポイント・クーポン発行など様々な会員との接点を増やす施策の実施により、前期の新会員プラン（会費無料のフリープラン）の導入以降、続いてきた購入客単価の低下によりやく底打ちの兆し
- ・海外はYouTuberとのタイアップ動画の配信をアメリカ、韓国に続きイギリスでも開始
- ・API連携や相互送客など転送会社との連携強化策にも積極的に取り組み、海外GMVの成長を後押し

フィナンシャル事業

売上高 2,860 百万円 (+3.0%)
セグメント利益 733 百万円 (+97.6%)

- ・「Paid」は取扱高（前期比14.5%増）、売上高（前期比15.5%増）と順調な成長を継続
- ・「URIHO」は低価格帯の集客が伸び悩んだものの保証残高（前期比12.0%増）、売上高（前期比14.2%）ともに二桁成長
- ・家賃保証事業（株式会社ラクーンレント）は売却により、下半期より連結子会社から除外